

平成 26 年 6 月 26 日

各 位

会社名 株式会社日本一ソフトウェア
代表者名 代表取締役会長 北角 浩一
(JASDAQ・コード番号：3851)
問い合わせ先
役職・氏名 取締役管理部長 世古 哲久
電 話 058-371-7275

株式会社日本一ソフトウェア 成長戦略策定に関するお知らせ

会社の経営の基本方針

当社は、創業理念「ゲームは作品ではなく商品である」に基づき、商品を購入してくださるユーザーの皆様のみならず、お取引先の皆様、株主や投資家の皆様など、当社に関わるすべてのお客様と喜びを分かち合える企業として発展していくことを使命と考えております。

また、当社では 2011 年 4 月より経営理念「Entertainment for All」を掲げ、ゲームという分野だけにとどまらず、あらゆるエンターテインメント分野で活躍するコンテンツメーカーとして、世界中の方々に喜びをお届けできる企業に成長することを目指しております。

中期経営ビジョン

創業理念および経営理念に基づき、当社を安定的に成長させていくため、会社基盤の整備と挑戦的な新規 IP(知的財産)を積極的に産み出し、人気コンテンツへと育てていくことに注力してまいります。

成長戦略

現在、モバイル市場ではスマートフォン、タブレット型端末の普及が進み、また、それらのプラットフォーム上ではソーシャルゲームやネイティブアプリが大衆化し、多くのユーザーが無料ゲームをプレイしております。

コンシューマ市場に注力を行ってきた当社は、現時点においてこれらモバイル市場に対する遅れが生じており、少なからず業績への影響はあるものと認識しております。

しかし、スマートフォンやタブレット型端末の大型化、高機能化はより高度なゲーム開発が必要となり、コンシューマビジネスを継続し、ゲームタイトルの開発を続けてきた当社にとっては、有利な土壌となりつつあります。

これからはプラットフォームに限らず、良質なコンテンツを創り続けていることがメーカーとしての強みになると考えております。

コンシューマビジネスはこれからも当社の中核事業であると位置付けております。

急激に変化する市場環境ではありますが、当社ではもっとも重要と位置づけている「開発力の向上：コンシューマビジネスの改善」と「会社基盤の強化」を引き続き行っていくことにより、安定した成長を行ってまいります。

「開発力の向上：コンシューマビジネスの改善」

発売サイクルの見直し

これまで当社は年度の主力タイトルに注力し、人的・資金的資源を投入してまいりましたが、本作の販売状況により業績への影響が顕著に現れておりました。

これからは中長期的に発売のサイクルを構築し、お客様に対しては発売のリズムによる市場の期待感を構築しブランド価値の向上を図っていくとともに、開発のリズムを作り人的・資金的資源の最適化を図ります。

開発力の向上

ゲーム市場ではゲーム機の高性能化、ゲームの大型化に伴い、各社開発費の高騰が進んでおり、当社においても同様に開発規模が拡大、人員増にもつながりました。

当社においては、今後開発規模、開発手法の見直しを行い、仕様の決定、作業項目の洗い出しを実施し、開発の最適化を行います。

また、現在のコンシューマ市場は特定タイトルによる市場の寡占化が進んでおりますが、当社は常に新規タイトルに挑戦し、業界を活性化させていきたいと考えております。そのため「日本一ソフトウェア NEW BRAND」を立ち上げ、今後も新しい挑戦を続けてまいります。

2D 技術の向上

これまで当社は 2D 技術に定評があり、2D 表現を用いた商品を多く制作して参りました。今後は当社の得意とする 2D 技術をさらに向上させるべく、アジアでの生産拠点を検討し、日本と連携をしながら品質の向上と最適化に取り組んでまいります。

「人材育成」

中期目標を達成していくための成長戦略として、今後の当社における当社グループを担っていく経営幹部および若手リーダーを更に充実させていくために、人材育成に注力してまいります。

当社グループの意思統一を強固にするため、新しく「グループ中長期策定委員会」を設置し、各社の中長期計画を本社の意思統一のもと計画、管理していくとともに、経営・財務に精通したスタッフの育成を行います。

また、社内外での研修を強化し、創業理念に基づいた経営幹部の意思統一を強化し、一般社員には、仕事を通じて社会人としての基本を徹底して強化していきます。

さらに、仕事を通じてプロフェッショナルとしての考え方や仕事の仕方を後進に伝えていき、チャンスとチャレンジのサイクルを構築してまいります。

以上の項目を中心に強化を計り、当社グループの安定的な成長と新たな代表作創出の土壌を作ってまいります。

当社の中期成長ビジョン

今後とも激変する環境ではありますが、当社では足下の業績数値にとらわれるのではなく、当社の「NEW BRAND」が世界中で多くの支持をいただき、どんな環境にも対応できる強くて柔軟な企業体質へと強化することによって、下図のように中長期にわたる安定的な成長軌道を描き、多くのステークホルダーのご期待にお応えすることが、当社の重要なミッションだと信じております。

今後とも関係各位のご支援をお願いいたします。

(参考資料)

<株式会社日本一ソフトウェア 連結業績計画並びに連結業績実績の売上推移>

